

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



## 四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実か どうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情深めるか
  4. みんなのためになるか どうか

2013-2014年度 RI会長  
ロン D. バートン

次回例会予定 8月 7日  
8月14日 休会 定款第6条第1節

VOL. 51 No. 5(通算No. 2367)

2013年7月31日(水) 例会プログラム

点 鐘  
ロータリーソング  
ビジター紹介  
出席報告  
S A A 報告  
諸 報 告  
幹 事 報 告  
会 長 挨 拶  
ツウンバRC派遣学生挨拶



写真提供: 石塚克己会員

2013-2014年度 会長 熊谷 昇 幹事 染谷 秀雄

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



例会報告 VOL. 51 No. 4(No. 2366) 7月24日(水)雨(司会 鈴木勝久委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎研究会報告

## 諸 報 告

親睦活動委員会 雨谷道夫委員長

納涼会のご案内

8月24日(土) ロイヤルウイングディナークルーズ

16:30 白井石油さん前出発

19:20 乗船

21:30 下船(23:00 水海道着)

詳細については、本日FAXをお送りします。

国際奉仕委員会 石塚利明委員長



ツウンバへの派遣日程

8月9日～8月18日

派遣人数:2名

本日、午後7時から糍屋さんでオリエンテーションを開催します。

IT委員会 瀬戸隆海委員長

川口西RCの週報を皆さんのボックスの中に入れて頂きました。他クラブのホームページを検索して、相手クラブ了解のもとこれからもご紹介させていただきたいと思えます。

50周年記念誌委員会 五木田利明委員長

記念誌に載せるコメントを8月14日前までに、北村陽太郎会員までお願い致します。

2012-2013年度決算報告 石塚克己直前幹事

別紙の通り

会計監査報告 秋田政夫会員

2012-2013年度、水海道ロータリークラブの収支決算について、関係諸帳簿と証拠書類について監査した結果、すべて符合しており適正でありました事を報告致します。

監査日/平成25年7月17日



## 幹事報告 染谷秀雄幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 龍ヶ崎中央RC 8月2日(金) 午後6時30分より なごみ  
8月16日(金) 休会

### 理事会報告

鈴木 豊会員より賜暇願いが提出されました。定款細則に照らし合わせたところ適正。

……承認されました……

## 会長挨拶 熊谷 昇会長



ご挨拶申し上げます。

7月3日に2013-14年度のご挨拶をさせていただき、皆さんのおかげで何とかスタートを切ったわけですが、早いものでもう第4回目の例会でのご挨拶となります。会員の皆さんの前でのスピーチのむずかしさと口下手な自分を実感しております。

さて7月22日は「土用の丑」ということで鰻を召し上がった方もいると思いますが、マスコミ等で取り上げられているように、稚魚の仕入価格が高騰し、うなぎのお値段が相当お高くなっているようです。お口に入れるのも懐具合と相談しながらいうところでしょうか。環境省も鰻を絶滅危惧種にリストアップしたようですし、年々大変になって行きそうです。

今年は「土用の丑の日」が7月22日と8月3日の2回あるようで、鰻好きの人と鰻屋さんにはラッキーな年だそうです。一方、日本のウナギにとってはまことにアンラッキーな年になるわけで、中国育ちのウナギも日本に來れば同じ運命をたどることになるようです。

そもそも「土用の丑」の理解が先になるのですが、「土用の丑の日」に鰻を食べる習慣はいつから出来たのかというと、いろんな説があるようですが、江戸時代の発明王平賀源内先生が、鰻屋の販売促進のために発案したものとされています。もともと「丑の日に『う』の字が附く物を食べると夏負けしない」という習わしがあり、「う」の付くものなら「うなぎ」だと提案したそうです。

また、夏バテしないよう鰻で精をつけることは万葉の時代からあるようで、有名なところでは、[大伴家持](#)がこんな和歌をおさめています。

石麻呂に吾(われ)物申す夏瘦せに良しといふ物ぞ鰻(むなぎ)漁(と)り食(め)せ

「わたしは石麻呂さんにに言ってやったのさ、夏瘦せにはウナギがいいらしいから、とってきて食いなさいなって」(『[万葉集](#)』卷十六の 3853、[岩波文庫](#))

瘦す瘦すも 生ければあらむを はたやはた 鰻を捕ると 川に流るな

「(夏バテして)げっそり痩せても生きていられればいいんだから、万が一にでもウナギなんかとりにいって、川に流されたら死んでしまうわ！」(『[万葉集](#)』卷十六の 3854、[岩波文庫](#))

先輩の吉田石麻呂さんとの掛け合いの和歌ですが、万葉時代の洒落つけを感じさせてくれます。

「本来「土用」とは、五行思想に基づく季節の分類の一つで、各季節の終りの約18日間のことをいうそうです。

五行思想では、春に木気、夏に火気、秋に金気、冬に水気を割当て、残った土気は各季節の変わり目に割当て「土用」と呼んだ。だから土用は年に4回あるのだが、現在「土用」というと夏の土用、つまり立秋前の土用をいう。「丑の日」は十二支を日に当てはめると12日に1回まわって来る。それがずれながら回っていくわけで、年によって「土用の丑の日」が1回の年と、2回ある年がある。」

さて、8月はロータリーの会員増強および拡大月間です。2012-13RI会長の田中作治さんは全世界のロータリアンにこう呼びかけていました。

「なぜあなたはロータリーの会員になることを選択したのか、そしてロータリーに入ってよかったと思ったのかをよく考えてほしい。その思い、情熱を身の回りの友人の皆さんに伝えてほしいのです。」

おひとりお一人の会員の皆さんに会員拡大のメッセージを發しました。

クラブの今年の目標は純増1名ですが、鈴木邦彦会員増強委員長のもと、新会員の加入の取り組みを進めていただきたいと思います。会員の皆様のご協力をお願いいたします。挨拶終わります。

## 研究会報告

### 職業奉仕研究会 齋藤広巳委員長



7月20日(土)筑西市のホテルニューつたやで、社会奉仕との合同で研究会が開催され、社会奉仕委員長の山牟田会員と共に研究会に参加して来ました。

10:30受付開始で、10:50よりしもだて紫水ロータリークラブの中原順子様  
の司会で始まりました。14:10までは合同での会議で役員の紹介・挨拶があり、昼食休憩後に、国際ロータリー第2750地区研修リーダー、東京銀座ロータリークラブの市川伊三夫様の「社会奉仕と職業奉仕について」と題した講演を聴きました。

14:30より委員会別に会場を分け、分科会がありました。分科会は、分區別に分けグループディスカッション。分区代表が発表という形式で行われ、7分区は龍ヶ崎中央ロータリークラブの城出委員長が発表しました。大変ハイレベルな内容に驚きました。

最後になりますが、研究会に参加し、職業奉仕委員会の役割は、奉仕をすることではなく、奉仕をするという心を養うためにクラブ内外に向け活動することだという事がわかっただけでも、私には価値ある研究会だったと思います。

### 社会奉仕研究会 山牟田 博委員長



職業奉仕委員会との合同研究会へ出席してきました。

1時間の講話を聴いてきました。とてもわかりやすい話でした。

分科会でのカウンセラーは、萩原PGが「奉仕はお金に限らず、精神的なもりもある」と言われていました。

分区毎のミーティングでは、7分区では継承されている事項が多い。エイズ撲滅・あるクラブでは木工教室をひらいている等の話が出ました。

### 青少年奉仕研究会 二本松恭行委員長



こんにちは。身内の法事と重なり研究会に出席することが出来ませんでした。代りに染谷秀雄幹事をお願い致しました。

7月13日(土)日立の天地閣において青少年奉仕委員会の研究会が行われました。長谷川ガバナーの挨拶で開会セレモニーが始まり新世代奉仕委員会から青少年奉仕委員会へと名称が変更になったこと、これからの青少年を育成することによってロータリー活動がもっと理解され賛同してもらおうといった意味からも青少年奉仕委員会の事業は重要なものになってくるというお話がありました。

その後、インターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換の委員長が紹介と各委員長から事業の説明や参加依頼などがありました。インターアクトについては、水海道クラブは提唱クラブではありませんが、ローターアクトについては石塚会員のお嬢様が以前より活躍をされており卓話に来ていただいたり、クラブの事業にも参加していただいたり大変かわりの深い関係にもあります。

ライラセミナーについては、水海道クラブは毎年多くの研修生を派遣しています。ここ数年研修生を集めるにも大変苦労しているという話もありましたが、水海道クラブは地区のライラセミナー委員会への出向している会

員がいたことや委員長経験者がいたことなどもあり、この事業にたいしての取り組みはどのクラブよりも活発に呼び掛けていると実感しました。今年は古河市でライラセミナーが行われますが、今までよりも近いこともあり、また一泊二日に研修期間も短縮されたことで参加しやすくなったのではないかと思いますので、昨年同様多くの研修生を派遣したいと考えますので、皆さんにもご協力をお願い致します。

青少年交換については、委員長からの事業の内容説明があり、その後一年間の交換学生として海外に行っていた方や短期交換学生の話がありました。

交換学生として海外へ行き現地の伝統、文化を学び交流を深めることによって将来の自分を創造し、社会で貢献できる若者に成長してもらおうといったことから大変重要な事業だと思うと同時に、水海道クラブが行なっている国際奉仕委員会の交換学生事業と同じであると実感しました。

### 米山記念奨学会 横山 修委員長



2013年7月21日(日)水戸プラザホテルに於いて、長谷川ガバナー、野堀担当カウンセラー、島根総括委員長のもと、合同セミナーが開催され参加してまいりました。午前10時～午後2時30分まで、30分の食事休憩のみで開催挨拶及び行事説明他は、ほとんど質問形式でセミナーが行なわれました。

#### ○主な年間行事

2013年 7月 クラブ米山委員長・カウンセラー合同セミナー  
 9月 日本文化研修 日帰り研修(奨学生と地区委員)  
 10月 米山月間(奨学生卓話・DVD等)

10月 クラブカウンセラーセミナー

12月 学友会行事 餅つき大会(学友会・奨学生・地区委員)

応募奨学生への事前オリエンテーション(筑波大学・茨城大学・流通経済大学)

2014年 1月 米山奨学生採用面接試験(2014年4月から採用学生)・年度4月～次年度3月

2月 米山奨学生期間終了式(2013年4月採用学生)

4月 次年度カウンセラー・米山奨学生のオリエンテーション

5月 米山記念館・米山梅吉お墓参り 研修1泊2日(奨学生・地区委員)

#### ○寄付金地区目標 (昨年同様)

普通寄付 5,000円(クラブ寄付 会員数×5,000)

特別寄付 20,000円以上

合計 25,000円以上目標(本年度の寄付金は3年後の学生にいく)

(60年間で17,000名もの奨学生があらゆる分野で活躍されている)

#### ○米山奨学生及び世話クラブ一覧表(別紙)

○クラブカウンセラーとの意見交換 是非行なって下さい。

○奨学生のいないクラブへの対応 出来る限り奨学生とカウンセラーで出席してほしい

### 出席報告 高須 薫副委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク	出席率
54名	41名	13名	0名	17名	92.59%

ニコニコボックス 倉持功典委員長 入金計 ¥38,000 累計 ¥305,000

地区セミナー、研究会への参加ご苦勞様でした。本日報告宜しくお願いします。 熊谷会員 熱い日が続きます。 染谷(秀)会員

セクレタリーの協力にて、7分区の例会訪問を7クラブ終了致しました。 大塚会員

相手が自分に対して「どれだけ良き夫であり妻であるか」ではなく「自分が相手に対してどれだけ良き夫であ

り妻であるか」を考えましょう。夫婦円満の秘訣は、相手に“求めない”事です！！ 青木(正)会員  
目指せ 100%出席?! 山野井会員  
社会奉仕、職業奉仕合同研究会参加して来ました。 斎藤会員  
安全運転に心掛けてます。 石井会員  
100%出席表彰を頂きました。今年は早くも1回休んでしまいました。 石塚(克)会員  
100%出席表彰 大塚・亀崎・瀬戸・横山 各会員  
7月17日例会欠席しました。本日早退します。 染谷(昭)会員  
早退します。 五木田(利)・染谷(正)・高須 各会員  
例会欠席しました。 古矢会員  
本日、委員会ごとの着席忘れてしまいました。来週はまた委員会ごとの着席となります。 倉持会員

会報委員会

五木田利明委員長

青木清人副委員長

## 会員増強

### 概要

ロータリー・クラブが効果的に機能するためには、会員が必要です。地元や海外の地域社会を援助し、ロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えてロータリーに奉仕できるリーダーを育成するクラブの能力は、クラブ会員基盤の強さと規模、また、会員の参加と直接関係しています。

クラブ会員増強委員会は、新会員の勧誘と現会員の維持におけるクラブ全体の取り組みを取りまとめます。このような取り組みを継続して行うことは、国際ロータリーを支える上で極めて重要です。国際ロータリーの成功には、熱心なクラブの会員基盤が必要とされています。

### 新会員の推薦と維持

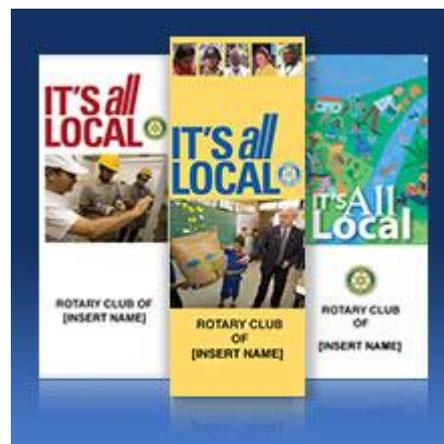
[クラブ用パンフレットのテンプレート](#) を活用して、クラブとその活動について会員候補者に紹介しましょう。また、入会問い合わせ書式と組み合わせると、さらに効果的です。

ロータリー・クラブが充実し、地域社会にとって重要かつ活力ある存在であり続けるためには、常に新しい会員を見つけ、現会員を維持していく必要があります。地域社会で奉仕活動を行うクラブの力は、会員基盤の強さと大きさに直接関係しています。また活動的なクラブは、ロータリーとつながりを保つようロータリアンに呼びかけています。

#### 「一人ひとりが実践しよう:会員の推薦と維持」

RI 理事会が採択した会員増強の標語「[一人ひとりが実践しよう:会員の推薦と維持](#)」は、新会員を見つけ出し、クラブの活力を維持することがロータリアン一人ひとりの責務であることを改めて伝えるメッセージです。また、充実したクラブと会員基盤を保つには、会員の維持も重要であることを強調しています。

新会員の推薦と維持を奨励するために、[クラブの表彰プログラム](#)があります。



RIホームページより